

神社及び神道の英語表現に関する神社本庁の取り組みについて
於：文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議

神社本庁教化広報センター
広報国際課 岩橋克二

これまで

- 平成 3 年に国際業務を取り扱う部署を設置し、英文冊子を発行
 - ・日本語を英語に翻訳しただけ
 - ・外国人の理解を考慮していなかった

現在

- 平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮を契機に新たな冊子を発行
 - ・『Soul of Japan』をはじめから英語で執筆（和文英訳ではない）
 - ・ヨーロッパの文化的背景も考慮した表現
- 発信する側の理解を深める必要性
 - ・神職が神社や神道について日本語できちんと説明できるか
 - ・英語で表現する場合になぜその表現になるのかを理解
 - ・SoJ 解説書を発行（配布資料）

課題

- 多種多様な神社の信仰
 - ・神社によって異なる歴史や信仰
- どうしても長くなる解説
 - ・辞書は必ずしも正しくない
 - ・例えば日本の「神」の概念

以上